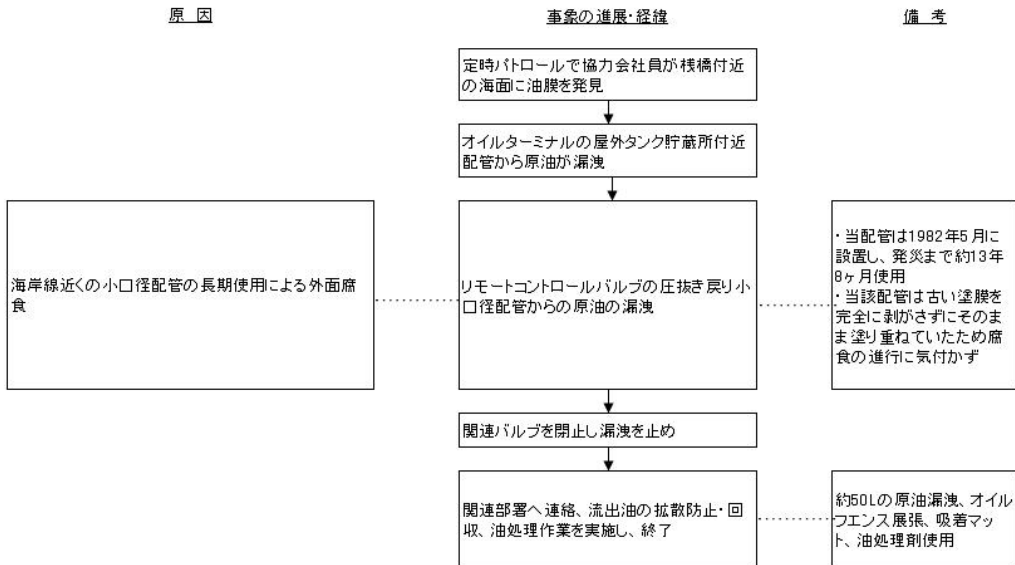




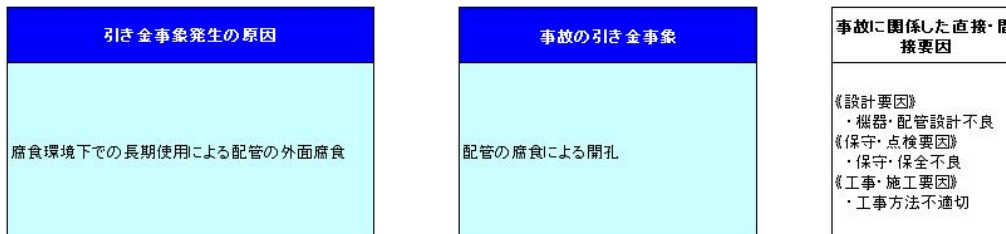
屋外タンク付属配管が外面腐食により減肉し、原油漏洩

事象進展図

00074	屋外タンク付属配管が外面腐食により減肉し、原油漏洩
発災年月日	1996年2月15日
装置	オイルターミナルの屋外タンク貯蔵所付近配管
運転状況	定常運転中・ルーチン作業中
特徴	腐食環境下での長期使用による配管の外面腐食



再発防止策
作業基準の改定 ・腐食箇所の点検、防食塗装法などについて社内規定に明記する。 点検項目の明確化 ・小口径及び大口径の腐食、減肉の点検 ・配管取り付け部の腐食、減肉状況の確認 ・ねじ込み部の最小肉厚測定値を基にして、配管、バルブ等の重量、振動はもとより、作業時の力を考慮した配管取り付け部の強度上の検討を行う。
安全専門家コメント
・塗装してあるからといって油膜は出来ない。厚く塗られている所ほど注意を要する。防食塗装時のケレンを含めて十分な注意が必要である。 ・一方で小口径配管は肉厚が薄いことから最初から肉厚のものを採用するなどの建設時点での配慮も必要である。日々の点検に当たっては運転課と保全課との効果的な連携も必要である。





屋外タンク付属配管が外面腐食により減肉し、原油漏洩

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

- ・科学技術振興機構、海岸線近くの配管の外面腐食による原油の漏洩、失敗知識データベース
- ・川崎市消防局予防部保安課、屋外タンク貯蔵所附属配管からの原油漏洩事故、川崎市コンビナート安全対策委員会資料、1996年

▶ 添付資料



[図 バルブ圧抜き配管概要図（24Bリモートコントロール弁）](#) (50 KB)

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備
- 🔑 配管 > パイプ
- 🔑 海上入出荷系

▶ 関連情報